

令和5年度三重県地域脱炭素ステップアップ講座（第3回）

---

地域脱炭素施策検討ワークショップ  
～事前課題～

---

地域脱炭素ステップアップ講座支援事務局

---

## 第3回で実施するワークの目的、流れ

---

# ワークショップの目的

## ■ 第3回講座で実施するワークショップの目的

- 過去2回の講座：「脱炭素の必要性」「環境省や県の脱炭素への思い」「先行自治体の取組例」の理解  
各市町のビジョンや課題の情報共有
- 第3回の講座：具体的な施策を検討し、実施に至るまでのロールプレイングを通して**各市町での施策実施の足掛かりとする**

### 過去2回のワーク

#### 第1回・第2回前半

- 脱炭素の必要性の理解
- 環境省や県の脱炭素への思いの理解
- 「先行自治体」の事例の理解

#### 第2回後半

- 部課長級に向けた、各市町のビジョン・課題の共有
- 横連携できる関係の醸成

### 第3回のワーク（今回）

#### 第3回

- 「仮想の市町」の目指すべきまちのビジョンをもとに、具体的取組（施策）を検討
- 実施に至るまでのロールプレイング

# 第3回ワークショップの概要

## 対応範囲

### 【事前準備】

仮想まちの情報  
把握

- 配布資料から仮想まちのビジョンや特徴を把握

実行中・実行予定  
の施策洗い出し

- まちのビジョンに合う、市町で実行済み・実行中・実行予定の施策を洗い出す

事例集参照

- まちのビジョンに合った実行施策がなかった場合、事例集を参照し施策を追加

課題検討

- 施策を実施するにあたっての課題を検討する（資金面の課題も検討）

### 【本日のワーク】

施策とりまとめ

- 事前準備の発表
- 事前準備シートをもとに施策をとりまとめる

施策の課題解決策  
に関する議論

- 事前準備した施策実施に向けた課題を共有
- 課題に対する解決策について検討

取り組みスケジュール  
設計

- 取り組む施策の全体スケジュールを検討

発表

- 5分間×4回

# はじめに：グループ分けについて

## ■ ワークショップにおけるグループ分け

- ・ 以下のグループ分けでワークを進行していく。

### ■ Aグループ

南伊勢町・御浜町・大紀町  
紀北町・紀宝町

### ■ Bグループ

多気町・いなべ市・玉城町  
亀山市・菰野町

### ■ Cグループ

鳥羽市・志摩市・尾鷲市  
伊勢市・熊野市

### ■ Dグループ

鈴鹿市・四日市市・伊賀市  
桑名市・津市

### ■ Eグループ

木曾岬町・川越町・朝日町  
東員町・名張市

### ■ Fグループ

明和町・度会町・松阪市・大台町

# 各グループのビジョンについて

## ■ ワークショップにおけるグループ毎の「目指すべき町のビジョン」を設定

- 以下のグループ分けでワークを進行していく。
- ビジョンについて、各市の特色にあったテーマがあれば必要に応じて〇〇の部分を追加。

## 自然資源の地産地消と〇〇と脱炭素の 調和が図られたまち

### ■ Aグループ

南伊勢町・御浜町・大紀町・紀北町・紀宝町

### ■ Fグループ

明和町・度会町・松阪市・大台町

## 観光と〇〇と脱炭素の 調和が図られたまち

### ■ Cグループ

鳥羽市・志摩市・尾鷲市・伊勢市・熊野市

## 産業発展と〇〇と脱炭素の 調和が図られたまち

### ■ Bグループ

多気町・いなべ市・玉城町・亀山市・菰野町

### ■ Dグループ

鈴鹿市・四日市市・伊賀市・桑名市・津市

### ■ Eグループ

木曾岬町・川越町・朝日町・東員町・名張市

---

## 事前課題の内容

---

# 事前課題で用いる資料

## ■ 事前課題で用いる資料 計2点

- 事前課題シート (①施策記入シート ②課題記入シート)
- 事例集

### 【施策記入シート】

事前準備シート		グループA		
目指すべきまちのビジョン				
自然資源の地産地消と〇〇と脱炭素の調和が図られたまち				
まちの特色				
気候・地理条件	再エネ賦存状況	人口動態	都市構造	産業構造
<ul style="list-style-type: none"> <li>過湿で雨が多い</li> <li>林野率 83%</li> <li>森林多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネポテンシャルが高い。</li> <li>公共施設の太陽光発電設備導入率 4.9%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2排出量 家庭部門の割合 20%</li> <li>人口1万人規模の市町</li> <li>過平均より人口減少傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2排出量 業務部門の割合 12%</li> <li>運輸部門の割合 31%</li> <li>移動に車が必要</li> <li>充電ステーション域内2ヶ所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2排出量 産業部門の割合 36%</li> <li>製造業の割合 24%</li> <li>農林水産業の割合 11%</li> <li>さかんな栗産</li> <li>農林水産業 食品製造業 皮革、土石製造業</li> </ul>
<p>「目指すべきまちのビジョン」実現に向けて現在自市町村で実施している施策、またはやりたい施策を2つ記載してください</p> <p>※やりたい施策の検討においては、「各取組主体の取組事例集」「目指すまの事例」をご参考にしてください。</p>				

令和5年度三重県地域脱炭素ステップアップ講座 (第3回)

### 【課題記入シート】

事前準備シート②	グループ
①人的・組織的課題	①に対する解決策・進め方
②経済的課題	②に対する解決策・進め方
③設備・技術的課題	③に対する解決策・進め方
④その他課題	④に対する解決策・進め方

講座当日検討

令和5年度三重県地域脱炭素ステップアップ講座 (第3回)

### 【事例集】

参考 I 各取組主体の取組事例集①			
分野	取組主体	事例	目指す姿
交通	行政	自転車道、歩道の整備 充電スタンド、半重ステーションの設置・カーシェアリング拠点整備 ゼロカーボン・ドライブの普及 電動車やコミュニティバス、e-bikeを組み合わせたMaas 脱炭素移動手段の活用拡大	住宅街・団地における目指す姿 小規模農産物の中心市街地における目指す姿 エネルギー管理を一体・連携して行うことが合理的な施設群 製造業が盛んな地域における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿
	住民	建物の屋根・駐車場に自家消費型太陽光発電設備を最大限設置 中電自立型の燃料電池等の活用 地域農村による気候変動 省エネ設備(LED照明・高効率給湯器等)や熱電併給の最大限採用 可能な限りZEBや断熱性向上のリフォームを実施 省エネ設備、家電(LED照明、高効率給湯器等)・宅配BOXを活用 住宅の屋根・駐車場に自家消費型太陽光発電設備の最大限設置 ZEB断熱性等の向上、事業用住宅ではZEH-Mで建設	観光エリア・団立公園における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿 農山村における目指す姿 エネルギー管理を一体・連携して行うことが合理的な施設群 小規模農産物の中心市街地における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿
建物	事業者	スマートLED、ソーラーLED照明 公園や緑地の整備により、ウェルカブな都市空間の形成 治水、貯水ダムのエネルギー活用 農業用水路等を活用した小マイクログル水力発電 公園利用施設の本材利用 建築資材を利用した断熱材、ヒートポンプ・パナソニック発電の導入 地熱資源の活用	住宅街・団地における目指す姿 小規模農産物の中心市街地における目指す姿 大学キャンパスなどの特定サイトにおける目指す姿 農山村における目指す姿 観光エリア・団立公園における目指す姿 観光エリア・団立公園における目指す姿 観光エリア・団立公園における目指す姿
	住民	太陽熱、地中熱、下水熱の利用拡大 家畜排せつ物のエネルギー利用 園芸施設等での木質バイオマスエネルギー利用 竹林、果山等の集約形成と発生バイオマスの活用 森林空間利用などのサービス提供 雪・氷の利用(雪定) 地域材の活用により農山管理を促進する	住宅街・団地における目指す姿 農山村における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿 住宅街・団地における目指す姿
土地利用	行政		住宅街・団地における目指す姿 農山村における目指す姿

参考: [https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/datsutanso/pdf/20210609\\_chiiki\\_roadmap\\_gaiyoku.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/datsutanso/pdf/20210609_chiiki_roadmap_gaiyoku.pdf)

地域脱炭素ステップアップ講座



# 事前課題の流れ

実行中・実行予定の  
施策洗い出し



事例集参照



課題抽出

①

## 実行中・実行予定の施策洗い出し

・自身の自治体で実行中、または実行予定の施策のうち、仮想まちでも取り組みそうな施策を洗い出す

## 作業

事前課題シート  
①施策記入シート  
に記入

②

## 事例集参照

・自身の自治体の施策が仮想まちの施策として合致しない場合、事例集から有効と思われる施策を検討する

事例集を確認し、  
事前課題シート  
①施策記入シート  
に記入

③

## 課題抽出

・仮想まちの施策を実行する場合に発生しそうな課題を検討する

事前課題シート  
②課題記入シート  
に記入

# 事前課題の進め方 ① 仮想まちの情報把握 ② 施策洗い出し

## ■ 事前課題の対応手順

- ① 自身の割り当てられたグループの**目指すべきビジョン**と**まちの特色**を把握する  
※まちの特色については、グループごと特性前提資料により詳細な情報が掲載されている
- ② まちの特色を活かして目指すべきまちのビジョンを達成するための**脱炭素施策を2つ記載**する
  1. 現在、自身の市町村で取り組み予定 or 取り組んでいる or 取組が完了している施策を記載
  2. もし現時点で取り組み予定・進行中の施策がない場合は、事例集を参考にして施策を検討のうえ記載

### 事前準備シート

グループA

目指すべきまちのビジョン				
自然資源の地産地消と〇〇と脱炭素の調和が図られたまち				
まちの特色				
気候・地理条件	再エネ賦存状況	人口動態	都市構造	産業構造
<ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖で雨が多い</li> <li>・林野率 83%</li> <li>・森林多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネポテンシャルが高い。</li> <li>・公共施設の太陽光発電設備導入率 4.9%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量 家庭部門の割合 20%</li> <li>・人口1万人規模の市町</li> <li>・県平均より人口減少傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量 業務部門の割合 12%</li> <li>・運輸部門の割合 31%</li> <li>・移動に車が必要</li> <li>・充電ステーション域内 3か所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量 産業部門の割合 36%</li> <li>・製造業の割合 24%</li> <li>・農林水産業の割合 11%</li> <li>・さかんな業種 農林水産業 食品製造業 窯業・土石製造業</li> </ul>
<p>「目指すべきまちのビジョン」実現に向けて現在自市町村で実施している施策、またはやりたい施策を2つ記載してください ※やりたい施策の検討においては、「各取組主体の取組事例集」「目指す姿の事例」をご参考になしてください。</p>				
<p>・</p> <p>・</p>				

### 前提情報

- ・目指すべきまちのビジョン
- ・まちの特色

### 入力項目

- ・脱炭素施策（2つ）
  - ・今後取組予定の施策
  - ・現在取り組んでいる施策
  - ・取組が完了している施策
- いずれもない場合
- ・事例集を参考にした施策 ※次ページ

# 事前課題の進め方 ③事例集参照

## ■ 事例集の参照手順

- ① 事例集P.2~3 参考Ⅰ 各取組主体の取組事例集 を参照する。  
「まちの特色」「目指すべきまちのビジョン」より、活用できそうな施策を選択する。
- ② 事例集P.4~9 参考Ⅱ 目指す姿の事例 を参照

### 参考Ⅰ 各取組主体の取組事例集①

分野	取組主体	事例	目指す姿
交通	行政	自転車道、歩道の整備 充電スタンド、水素ステーションの設置・カーシェアリング拠点整備 ゼロカーボン・ドライブの普及 観光客のコミュニケーション・ホスピタリティを高めるためのMaaS	住宅前・団地における目指す姿 小規模市町村の中心市街地における目指す姿 エネルギー管理を一体・連携して行うことが合理的な施設群 製造業が個人な地域における目指す姿
	住民	観光客移動手段の活用拡大	住宅前・団地における目指す姿
建物	行政	建築物の屋根・駐車場に自家消費型太陽光発電設備を最大限設置 省電自立型の照明設備等の活用	観光エリア・国立公園における目指す姿 住宅前・団地における目指す姿
	事業者 住民	地域産材による住宅建築 省エネ設備（LED照明・高効率給湯器等）や熱電併給システムの最大限採用 可能な限りZEBや断熱性向上のリフォームを実施 省エネ設備・家電（LED照明、高効率給湯器等）の導入を促進 住宅の屋根・駐車場に自家消費型太陽光発電設備を最大限設置 ZEH断熱性等の向上、断熱住宅ではZEH-Mで建設	農山村における目指す姿 エネルギー管理を一体・連携して行うことが合理的な施設群 小規模市町村の中心市街地における目指す姿 住宅前・団地における目指す姿 住宅前・団地における目指す姿 住宅前・団地における目指す姿
土地活用	行政	スマートLED、ソーラーLED街路灯 公園や緑地の整備により、カーカブンを蓄積空間の形成 治水、利水ダムのエネルギー活用 農業用水路等を活用した小マイクロ水力発電 公園利用施設の木材利用 温泉熱を利用した熱供給、ヒートポンプ、バイナリー発電の導入 地熱資源の活用 太陽熱、地中熱、下水熱の利用拡大 家畜排せつ物のエネルギー利用 園芸施設等での木質バイオマスエネルギー利用 竹林、里山林の美観形成と発生バイオマスの活用 森林空間利用などのサービス提供 雪・氷の利用（雪室） 地域材の活用により農山管理を促進する	住宅前・団地における目指す姿 小規模市町村の中心市街地における目指す姿 大学キャンパスなどの特定サイトにおける目指す姿 農山村における目指す姿 観光エリア・国立公園における目指す姿 観光エリア・国立公園における目指す姿 農山村における目指す姿 住宅前・団地における目指す姿 農山村における目指す姿 観光エリア・国立公園における目指す姿 農山村における目指す姿

参考： [https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/datsutanso/pdf/20210609\\_chiki\\_roadmap\\_gaiyou.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/datsutanso/pdf/20210609_chiki_roadmap_gaiyou.pdf) 地域脱炭素ステップアップ講座 2

「まちの特色」  
「目指すべきまちのビジョン」  
より施策として有効そうな事例  
を参照

### 参考Ⅱ 漁村（漁業操業区域や漁港を含む漁業が営まれるエリア）



イメージ図を参考にして、  
施策を想像・検討する

# 事前課題の記載例

## 事前準備シート

## グループA

### 目指すべきまちのビジョン

自然資源の地産地消と〇〇と脱炭素の調和が図られたまち

### まちの特色

気候・地理条件	再エネ賦存状況	人口動態	都市構造	産業構造
<ul style="list-style-type: none"> <li>温暖で雨が多い</li> <li>林野率 83%</li> <li>森林多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネポテンシャルが高い。</li> <li>公共施設の太陽光発電設備導入率 4.9%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2排出量 家庭部門の割合 20%</li> <li>人口1万人規模の市町</li> <li>県平均より人口減少傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2排出量 業務部門の割合 12%</li> <li>運輸部門の割合 31%</li> <li>移動に車が必要</li> <li>充電ステーション域内 3か所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2排出量 産業部門の割合 36%</li> <li>製造業の割合 24%</li> <li>農林水産業の割合 11%</li> <li>さかんな業種 農林水産業 食品製造業</li> </ul>

「目指すべきまちのビジョン」実現に向けて現在自市町村で実施している施策またはやりたい施策を2つ記載してください。

※やりたい施策の検討においては、「各取組主体の取組事例集」「目指す姿の事例」を参考にしてください。

「どの取組主体が」「どのような目的で」「誰に」「何を行うか」を意識して作成。

- 行政が脱炭素促進及びランニングコスト削減のため、公共施設の屋根に自家消費型太陽光発電設備を最大限導入、さらに余剰電力活用のために蓄電池を導入することで、学校等の施設の災害対策機能を強化する。
- 行政から事業者へ、自然資源の地産地消のために、地域産材を活用した住宅建築、新築&リノベーションにおけるZEH化推進に対する補助金支援を実施

# 事前課題の進め方 ④ 課題抽出

■ 施策を実施するにあたって想定される課題を記載。

- ① 施策を実施する時に、想定される課題を抽出する。
- ② 抽出した課題を「①人的・組織的課題」「②経済的課題」「③設備・技術的課題」「④その他課題」に分類して具体的に記載する。

事前準備シート②	グループ
①人的・組織的課題	①に対する解決策・進め方
②経済的課題	②に対する解決策・進め方
③設備・技術的課題	③に対する解決策・進め方
④その他課題	④に対する解決策・進め方

講座当日検討

・施策を実施するにあたって想定される課題を抽出する。  
・抽出した課題を①～④に分類して記載する。

令和5年度三重県地域脱炭素ステップアップ講座（第3回）

# 課題記入シートの記載例

事前準備シート②	グループ
<p>①人的・組織的課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の屋根に自家消費型太陽光発電設備を導入する際、施設を管理する部署や営繕課の協力を得られず、施策推進が滞る。</li> </ul>	<p>①に対する</p>
<p>②経済的課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電設備導入の予算（財源）の確保</li> <li>住民への「ZEH化推進」補助事業を進める予算（財源）の確保</li> </ul>	<p>②に対する</p>
<p>③設備・技術的課題</p>	<p>③に対する</p>
<p>④その他課題</p>	<p>④に対する解決策・進め方</p>

・想定される課題を①～④に分類して記載する。

講座当日検討